



■発行年月日/2015年10月1日 ■発行/独立行政法人国立病院機構千葉医療センター ■発行責任者/院長 増田政久 ■編集者/副院長 杉浦信之
〒260-8606 千葉市中央区椿森4-1-2 Tel 043-251-5311 Fax 043-255-1675 http://www.hosp.go.jp/~chiba/



「東京湾アクアライン」 海ほたるから千葉方面を望む 撮影：事務部長 三井光義



病院も満70歳を迎えて

院長 増田政久

だいぶ秋らしくなってきました。
皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

今年は終戦から70年という節目の年、当院も満70歳を迎えます。昭和20年12月に施設はそれまでの陸軍病院から厚生省に移管され国立千葉病院となり、その後平成16年4月に国立病院の独立行政法人化に伴い、国立病院機構千葉医療センターとなり以前のような国からの予算で完全に運営する体制から自前で運営する体制に切り替わりました。

現在、当院の基本は「地域医療支援病院」、「千葉県災害拠点

病院」(今年指定)、「地域がん診療拠点病院」(今年更新)という3本の太い柱に、各種研修教育と治験活動、さらにネットワークを用いた情報発信をからませた枠組みからなっています。今後もこの基本構造を維持しつつ地域との連携を視野にどのような医療を提供するのか？ できるのか？ を決めていきたいと思っています。

さて、9月11日に茨城・栃木の集中豪雨被害に対して災害派遣医療チーム(DMAT)の派遣要請を受け初出動しました。前述した災害拠点病院の指定条件に災害派遣医療チーム(DMAT)を有することが明記されています。できたてはやはやのチームを派遣し、十分とはいえない活動だったと報告は受けていますが少しでもお役に立ち、無事に帰ってこられたことに安堵しています。ご苦労様でした。

病院も80歳、90歳の節目を迎えることに信頼が深まったと評価頂けるよう、努力して参りたいと思います。

Y n i h a n n (国 立)	広域医療搬送訓練 / 表紙説明	2
	連携医院紹介	3
	ANECDOTA 一隠れた史実	4~5
	地域医療連携室だより マンモグラフィ / 千葉医療ネットワーク	5
	診療トピックス	6
	千葉性暴力被害支援センターちさと / 病棟・外来紹介	7
	千葉看護学校だより	8~9
	トトロの夏祭り	9
	看護功労者知事表彰 / がん患者サロン・プロヴォックス患者交流会	10
	市民健康セミナー/専門外来・検査担当医師表/編集後記	11
	外来担当医師表	12

主な行事予定

- 10/17 市民健康づくり大会
- 10/20 看護学校戴帽式
- 10/22 第149回市民健康セミナー
- 11/ 8 七十周年記念式典
- 11/17 看護学校推薦入学試験
- 11/26 第150回市民健康セミナー
- 12/24 第151回市民健康セミナー

広域医療搬送訓練に参加しました！

千葉医療センターでは9月1日、大規模な首都直下地震を想定した、内閣府主催の医療活動訓練(広域医療搬送訓練)を行いました。

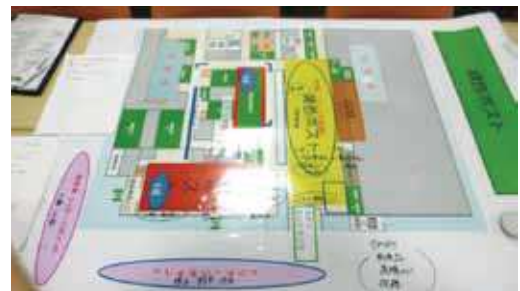
当日は当院の災害派遣医療チーム(DMAT)や職員以外にも、沖縄県をはじめとする遠隔地のDMATなどが参加しました。

今回の訓練は災害拠点病院である当院に遠隔地DMAT隊(沖縄県、鹿児島県、熊本県)が受援のために参集し、広域医療搬送拠点(SCU)が設置されている千葉大学病院までの搬送訓練(模擬患者)及び被災状況に基づき多数傷病者を受け入れトリアージ訓練の実施(机上)等本番さながらの緊迫感を持って行われました。

当院ではこれからも、万が一のときに備えて定期的に災害訓練に取り組んでまいります。



派遣されたコーディネーターと共に打ち合わせ(訓練前日)



災害時における患者受け入れのレイアウトを確認



各ポストでの受け入れ患者のトリアージ訓練



院内すべての情報は災害本部に集約



院長を筆頭に災害対策本部を立ち上げ訓練開始

(管理課長 木村 寿)

用語解説

- **DMAT**：トレーニングを受けた医師・看護師・薬剤師・事務などで構成される、機動性を持った災害派遣医療チーム。
- **SCU**：被災地外等に搬送する必要がある患者さんを一時的に受け入れる、広域医療搬送拠点。
- **トリアージ**：災害医療の現場において、限られた医療資源(医療スタッフ、医薬品等)を最大限活用するため、負傷者を傷病の緊急性・重傷度に応じて分類し、治療の優先順位を決定すること。

東京湾に浮かぶパーキングエリア「海ほたる」

東京湾アクアラインは東京湾の中央部を横断する延長約15kmの有料道路で、首都圏幹線道路網の一部を構成するものです。房総地域と京浜地域を直結し、その交流を促進するとともに、首都圏の南回りバイパスとして湾岸地域の首都高速道路、京葉道路等の渋滞緩和、環境改善に役立ちます。

東京湾アクアラインの開通によって川崎市と木更津市は従来の3分の1の約30分で結ばれることになり、京浜地域と房総地域の走行距離や時間が大幅に短縮されました。これにより、産業活動の向上、レジャーや商業活動、文化活動が活発化することが期待されています。

通行料金は、普通車が通常料金3,090円ですが、現在ETC車割引料金800円を継続しています。

海ほたるは、トンネルから橋に移る部分までの全長約650m、全幅約100mの長方形をした島です。パーキングエリアは5階建てで構成されており、1階から3階までが駐車場で4階・5階が営業施設となっています。



海ほたる

カッターフェイス(巨大モニュメント) 海底トンネルの掘削に使用した14.14メートルの実物大のカッターフェイスの巨大なモニュメントです。



カッターフェイス(巨大モニュメント)

(事務部長 三井光義)

連携医院紹介

元山医院

千葉市花見川区朝日ヶ丘 1-10-15

☎ 043-298-2811

院長 元山 妙子

副院長 元山 天佑

平素より国立千葉医療センターの先生方、皆様には大変お世話になっております。

当院は、1986年11月に花見川区朝日ヶ丘に開院して29年になりました。開院した頃は一人で何でも行っていました。2年前より息子(元山天佑)も診療に加わり、より時間をかけて患者さんに分かりやすく、丁寧な診療ができるようになりました。私の専門は循環器内科ですが、当院には0歳時からご高齢の方まで幅広い患者さんが来院されております。来院して頂いた患者さん一人一人に対して、その人にとって最良の治療ができる様にこれからも努力してまいります。

国立千葉医療センターには当院開設以来全科にわたり大変お世話になっております。専門性の高い医療を必要



としたり、緊急の対応を要する患者さんもいらっしゃるため、いつも快く相談に乗って頂ける千葉医療センターの先生方には本当に感謝しております。

8月より千葉医療センター地域連携ネットワークにも参加させて頂き、今後はさらにお互いの診療情報の共有が行いやすくなると期待しております。これからもますますお世話になる事と思いますが、よろしく願いいたします。

山口内科外科クリニック

千葉市中央区弁天1-2-3 KMビル2階

☎ 043-207-7781

院長 山口 明

2005年1月に開院し、10年8ヶ月経ちました。

これまで貴院には脳外科、消化器内科、循環器内科など多科に渡り、患者さんを引き受けて頂き、感謝致しております。

小生はごく短期間だけ千葉大旧第1外科に所属しましたが、市内の病院への出張が無く、貴院の情報を知りません。開業するまで胸部外科(肺、縦隔、心臓血管)の狭い領域に従事していましたので、脳から末梢まで幅広い臓器、領域の疾患を学ぼうと、ドクターG(general)、ドクターD(diagnostician)を目指す初々しい研修医の心構えで診療しております。

いざ開業してみると世の中には認知症、変形性膝関節症、巻き爪など未解決の多彩な疾患で困っている人が身



近に多いことが分かりました。

地理的に貴院は当院から近く、千葉大病院に次いで、国立であることの患者さんの信頼感が強く、紹介を希望される方が多いようです。しかし、患者さんは病院の受け入れ能力には限界があることを理解し、休日診療や夜間勤務など、便利さを支えている医療労働者が疲弊しないように、わきまえて利用するようにしてもらいたいと思っています。

A N E C D O T A (42)

— 隠れた史実 —

元研究検査科長 高澤 博

前号からの続きで、ウィリスと横浜軍陣病院を中心に述べます。1868.7.21（陰暦6月2日）、ウィリスは横浜軍陣病院における彼の医療活動の報告書をパークスに提出した。その内容は前号から続きます。彼が陰暦閏4月11日（陽暦6.1、今後、陰暦表示を主体とします）から5日間、江戸赤羽橋有馬屋敷中心にした傷病兵77人の治療については前述しましたが、彼が閏4月17日横浜に帰還して間もなく、緊急を要する官軍患者が回されてきました。

まずは横浜軍陣病院の地理歴史的なことを中心に述べます。野毛の修文館（幕府役人の子弟達の漢学所）（図1-①）の学校の建物を病院に使用した。これはウィリスの指示であったという（『日本陸軍病院にかんする報告』1869年（明治2）3月30日、J・シッドール医師が本国に提出した報告書。『ヒュー・コータツツイ著、中須賀哲朗訳』以下、「報告書」）。上記報告書が書かれた間に上野彰義隊討伐作戦（5月15日、陽暦7月4日）があり、負傷兵の一部も横浜に送られてきた（50名）。修文館での将兵の収容限度（30名）を超えたため、一部は館周辺旅籠や寺にも収容したが、大部分（約169名）は居留地から1.5kmほどにある太田陣屋（安政6年9月横浜開港所警護のため福井藩士収容、後に松代藩と交代、1万1千9百余坪。慶応2年11月陸軍奉行支配になり大改築を経て旧幕府三兵伝習所、現日の出町の病棟に収容された（図1-②）。続いて展開する東北・北越戦争の負傷兵もいれて、患者総数は最高207名に達した（中谷淳朗）。

ウィリスの報告では患者総数176名（上野戦争50名、会津追討戦・北越戦争126名）：薩摩120、長州23、土佐18、豆州6、備前5、戸田3、大村1名とあります。創傷の大部分は銃火器によるもので、なかには京都養源院でウィリスが治療した者も数名いたし、また、胸部被弾創傷が治癒しないで江戸で新たに負傷したものもいた。益満休之助は江戸から搬送されここで破傷風がもとで死亡した。在院患者207名の時点では、修分館6名、元勘定役所（野毛）32名（1-④）、太田陣屋169名で満床であった。5月19日以降は太田陣屋以外の新期入院は停止した。シッドールの行動範囲の能力の限界による。治療はシッドールが中心で、ウィリスは副領事を兼ね多用で時々治療に参加した。その他に英国海軍病院ダンウッド医師、元英国公使館ジェンキンス医師、軍艦オーシャン号J・ローリー医師、英国第十連隊オートン医師の助力があった。

日本人医師団は5月26日から頭取性がとられ、初代有馬意連（薩摩）、次いで柴田宗伯（備州）、東京大病院開設をふまえて石神良策（薩摩）が医局頭取を継いだ。次席医、お雇い医、各藩出向医、見習い医まで総勢54名（中谷、報告書は45名）あり、毎朝医局会が開かれたと云います。シッドールが構内衛生問題で当局（鎮将府一御使番頭取）と対立すると石神が力になってくれたと彼は感謝しています。石神は後に日本海軍の創設者になりますが、後述します。

横浜軍陣病院の地理的資料も少なく曖昧なまま今日に至った、ここで洲干弁天北隣のフランス語学所（仏語伝習所とも、以後語学所）（図1-③）に触れる必要があります。「横浜市史稿」では軍陣病院の開設を語学所内に求めています。他方で「横浜軍陣病院日記」や「復古記」では野毛修分館を挙げています。この齟齬を解決したのが前述の中西淳朗氏（横浜市皮膚科医）で、横浜中心の医療史について多くの業績があります。

前にも触れた鳥羽伏見戦争で惨敗した幕府軍将兵ないし傷病兵の江戸への帰還は、天保山に集結した会津藩傷病兵、新選組隊員、旗本・伝習隊歩兵を、幕府海軍艦船が駆けつけ、翔鶴丸、順動丸に会津藩ほかの重傷兵を、富士丸には新撰組隊員と旗本の重症者を搭乗収容し、1月10日から12日にかけて大阪湾を出航した。このうち富士丸は榎本武揚の指示で横浜港に立ち寄り、数十人の傷病兵を既に空家であった語学所内に収容し仮病院とした（田島



図1. 横浜実測内務省明治8~14年 野毛山の丘陵に①修文館後の十全病院 ②大岡川沿いに太田陣屋の兵舎がみられ、③洲干弁天界隈に旧幕府官舎群 ④野毛下には元勘定役所官舎が存在した。



図1-① 修分館(左)、旧幕府役人子弟の漢学所で湯島から儒者が派遣された。明治6年に十全病院が移転してくる。現在の横浜市立大学医学部の前身です。窓枠を数えると前後で32あり患者収容限界に一致する。位置は現老松中学校の位置でグラウンド片隅には往時の石垣(右)が厳然と遺る。



図1-② 太田陣屋、横浜開港場警護のために設けられた後身。二階建てアラビヤ馬伝習のためのもの6棟で二階が2つの大部屋、別棟予備大部屋1個合計13大部屋。209名で満床。右視野の箱型棟は医局であったらしい。



図1-③ 弁天地区(ペイト)明治元年以前 遠方に官舎群がみられます。その中心がフランス語伝習所か。現在も弁天町として地盤が残る。明治2年弁天社は羽衣神社として吉田新田に移り、跡に試験灯台が建設される(明治7年)。

親、史談会速記録No257、中西)。傷病兵の治療にはフランス人医師が当たったが氏名は未だ不明で船医の可能性もあります。この江戸帰港で翔鶴丸に勤務した海軍軍医の佐野諒元は、乗船傷病兵百数十名を一人で治療したと云います（今田見信、『小幡英之介先生』

医歯薬出版、中西)。此処で脱線しますが、戊辰戦争での従軍医師(軍医)は特に幕軍では不明の点が多く未だ解明されていません。例えば「遊撃隊起終録、附戊辰戦争参加義士人名録」(玉木弥五左衛門、岡崎藩近習役、遊撃隊第三軍副長記載)なる超貴重な資料が函館中央図書館で公開されています。ここに記載された医師名を拾い上げると約21名の軍医(馬医1名)がいますが、前掲の佐野諒元なる姓名は見出せませんでした。

さて、語学所に戻ります。ここが旧幕府の仮病院として使用されたのは慶応4年1月17日から同年2月末までで、その間新撰組傷病兵も25名前後おり、近藤勇も伏見で受傷した体で見舞いがてら甲州鎮撫への勧誘に来ています。その後は未治癒のもの(18名)は江戸へ護送され、語学所は同年3月以降はフランス公使館に借り受けられます。従って、横浜軍陣病院の一環にはなり得ない訳です。次号に続きます。

地域医療連携室だより

マンモグラフィについて

マンモグラフィは乳がんを診断する方法のひとつで、乳房専用のエックス撮影です。乳がんを検出する上で診断能の高い手法です。からだの外側からの診察でわかりにくい病気や、しこりが触れる場合にはそれがどのような(良性や悪性等)ものなのか、マンモグラフィの写真を見ることで乳房にできる大半の病気を見つけることができます。

当院は日本乳がん検診精度管理中央機構の認定するマンモグラフィ検診施設画像認定施設になっております。また、日本乳がん検診精度管理中央機構の認定を受けた認定診療放射線技師がおり、マンモグラフィの撮影は全て女性技師が行っております。

当院で使用しているデジタル乳房エックス線撮影装置は日本医学放射線学会の定める使用基準を満たした最新の装置で、トモシンセシス(断層撮影)機能を有しております。この装置では従来のマンモグラフィ撮影に加え、角度を変えて複数の方向から撮影し、収集したデータを3次元的に再構成して断層像を作成することができます。これにより、通常の撮影で乳腺と重なってしまい見えにくい病変が、断層撮影をすることでより確実に病変を描出することができます。なお、被ばく線量は通常のマンモグラフィ撮影とほとんど変わりあ



私たちが撮影しています

りません。

安心してマンモグラフィ検査を受けていただく体制を整えております。不明な点などはお気軽に当院乳腺外科または放射線科までご相談下さい。(放射線科 山口恭子)

千葉医療ネットワーク

iPad対応のご紹介

千葉医療ネットワークは当院を受診された患者さんの電子カルテの情報を、インターネットを通じて地域の医療機関の先生方に見ていただくシステムです。平成25年より運用を開始、情報としては検査結果や画像及びそのレポート、当院への入院退院情報、処方歴等が閲覧可能となっております。現在30施設の先生方にご利用いただき、文書で同意いただいた330名の患者さんが登録されております。個人情報ですので、セキュリティの確保にも配慮しております。

ご利用いただいている先生からは、患者さんとのコミュニケーションがとりやすくなる、重複処方を避けられると好評いただいております。

インターネットに接続できるPCがあれば当システムのご利用が可能ですが、このたびiPadでも同システムを利用できる

ようになりました。訪問診療の場でもご利用いただけますし、患者さんに画像を見せながら説明するなど、場所を問わずにご利用いただけます。

千葉医療センターとしては、当システムを利用して地域医療の質の向上を図っていきたくと考えております。導入にあたっては当院の職員が訪問し、システム環境調査・導入の実施・メンテナンス等行っており、また、費用負担もございません。ご興味をお持ちいただきましたら、まずはご説明に伺いますので、下記までご連絡ください。

また、千葉医療センターのホームページでも当システムをご案内させて頂いておりますのでご覧ください。

千葉医療センター 医療情報管理室 高橋

Tel : 043-251-5311

Mail : takahashiy-ad@mail.cicnhosp.jp

coo-sys@mail.cicnhosp.jp

診療トピックス ⑤9

当院歯科口腔外科で試みている癌治療について

口腔癌には舌癌、歯肉癌や頬粘膜癌などがありますが、発生した癌の大きさに応じて咀嚼、嚥下や発音などが徐々に障害を受けます。さらに癌を手術切除することで口腔機能は時により大きく障害され、審美的にも傷などが目立ち後遺症がさらに酷くなることがあります。

当科では従来手術や放射線治療以外に、光線力学療法と超選択的動注化学療法を行っています。今回それらの方法について報告させていただきます。

【光線力学療法】

光線力学療法には、光線力学診断と光線力学治療があります。光線力学診断では特定の波長の光照射により、蛍光を発することで病状の診断を行います。光線力学治療では、特定の波長の光照射によって反応性が高く酸化力の強い活性酸素を発生させ、癌の細胞膜や核に傷害を与えることで癌細胞の増殖を抑制します。

当院では光線力学療法に5-アミノレブリン酸を使用しています。5-アミノレブリン酸は細胞内のミトコンドリアで鉄と結合して、ヘモグロビンの基となるヘムを作る重要な働きをするアミノ酸の一種です。そして腫瘍細胞に取り込まれることで蛍光物質に合成されます。そのため紫青色LED（波長405nm）の光を照射することで、赤色（波長635nm）の蛍光を発して腫瘍の存在が確認できます。さらに励起波長の赤色LED（波長635nm）を照射することで、活性酸素が発生して腫瘍細胞に殺細胞効果が発揮されます。



光線力学診断

従来から口腔粘膜の表在性悪性境界病変は、外科的切除が第一選択とされています。しかし病変が広範囲におよぶ場合は、手術侵襲の増大と再建に伴い機能障害が生じてしまいます。また全身状態や既往歴によっては、手術が選択できない場合もあります。今回、広範囲な軟口蓋うづえい癌に5-ALAを用いた光線力学療法を行い、図のように良好な結果を得ることが出来ました。5-ALAによる光線力学療法は治療に伴う侵襲が少なく、既往・全



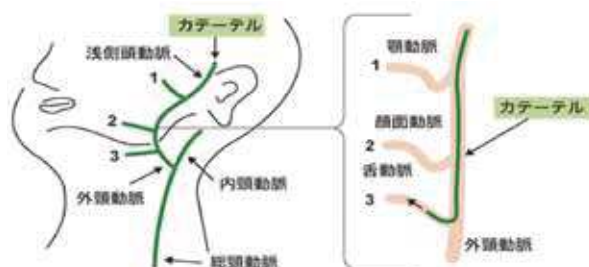
治療前(矢印：病変部)

治療後

身状態などに影響されにくいためにその適応範囲は広くなると考えます。

【超選択的動注化学療法】

超選択的動注化学療法は、動脈にカテーテルを挿入して血管造影撮影しながら、腫瘍栄養動脈を確認して抗がん剤を注入する治療方法です。そのため高い濃度の抗がん剤が腫瘍局所に作用することになりますが、全身への影響は少なくてすみます。当院で行っている超選択的動注化学療法は、主に耳前部の浅側頭動脈にカテーテルを挿入して留置しますので継続的に治療が行えます。



またカテーテルは心臓を通さず外頸部動脈に通しますので、使用できる動脈は舌動脈、顔面動脈と顎動脈などに限られますが、より安全性が高いものとなります。さらに超選択的動注化学療法により顎下部領域のリンパ節転移が制御されていると考えられる症例もあり、口腔癌治療では大変有効な治療法と考えられます。



治療前



治療後

しかし、残念なことに創外カテーテルを使用した場合に、治療中にカテーテル感染が発症して重篤な症状になる場合があります。現在ではカテーテル感染に対して、PUカテーテルにポートを接続して皮下に埋入することで、カテーテル感染を予防しています。



PUカテーテルにポート接続



皮下埋入

当科は、耳鼻咽喉科と協力して口腔癌により安全で効果の期待できる治療法を取り入れながら、口腔癌治療を行っています。（歯科口腔外科医長 中津留 誠）



千葉性暴力被害支援センター ちさとをご存知ですか (chiba support center for sexual assault chissat)

性暴力は殺人にも匹敵する、重大な犯罪、人権への暴力です。にもかかわらず、多くの被害者が警察に訴えるどころか、誰にも相談せず、しかも長年PTSDなどで苦しんでいる、という特異的な犯罪です。

「ちさと」は、性暴力被害者支援のワンストップ・サービスセンター（内閣府提唱）の千葉県版として2014年4月に発足、同年6月、千葉医療センターと活動協定を交わし、7月に産婦人科医師、病院スタッフも含めた約20名の支援員をもって活動を開始しました。

昨年は医療支援、従って警察を介した急性期被害者支援を中心に展開しました。24時間体制で待機をしていた割には相談は少ないものの、従来病院として婦人科が対応した数の数倍の被害者対応をしました。急性期には診察と加害者を特定する証拠採取を行います。後日、支援員によるこころのケアや今後の相談をすることができました。これには受付、外来看護師など病院スタッフの協力も大きな力でした。

2015年6月からは、病院敷地内にちさとの拠点「ちさとルーム」を置き、おちついた雰囲気でも相談事業をすることができるようになりました。支援の範囲も広くすべての性暴力被害者とそのご家族に助け、広報活動を開始しており

ます。今のところ、支援対象は女性のみで、そのため、医師・支援員はすべて女性です。

まだ支援経験も浅く、体制も不十分ですが、支援員（養成講座を終了したボランティア）は被害を受けた方が、性暴力にありがちな「被害者にも非がある」といった偏見に負けず、心身の健康をとりもどし、加害者を罰する力になれるように、研鑽をつんでおります。

支援専用電話は043-251-8500です。週日昼間は、ちさとルームで電話相談・来室相談を、夜間・休日は転送電話で救急対応をいたします。ホームページは chissat.sakura.ne.jp 当院ホームページにもリンクされていますので、ぜひごらんください。会員、支援員を募集中です。どうぞお声をおかけください。

(千葉性暴力被害支援センターちさと理事長 大川玲子)

(千葉医療センター産婦人科医長 岡嶋祐子)



ちさとの準備セミナーに参集した支援員・医師

病棟・外来紹介

集中治療室

集中治療室は、大きな手術や治療後に管理が必要な患者さん、外来や病棟で重症となり人工呼吸器管理などの集中治療が必要な患者さんが入室される病棟です。入室される患者さんは、くも膜下出血などの脳血管疾患、肺癌や食道がんなどの手術後、急性心筋梗塞や心不全などの心臓疾患を治療している方です。

患者さんの身体には点滴や管が入り、患者さんは思うように身体を動かせないような状況になることもあります。また、病棟の病室とは少し環境が異なるため不安を感じる方もいらっしゃいます。病状はかなり不安定な時期であり、看護師は診療の介助とともに病状の悪化がないか観察を密に行い、患者さんの安楽を考え看護をしています。また、患者さんやご家族のこれからどのようなのかという強い不安を受け止め、主治医からの病状説明時には必ず看護師が同席し、患者さん・ご家族の思いをくみ取れるような看護を心がけています。

予定の手術で入室される患者さんには、事前に集中治



療室の説明と、ご希望の方には集中治療室を見学もしていただいて、少しでも安心して入室できるようにしています。

今年度は、看護師の関わりでできるせん妄予防に取り組み始めました。集中治療室に入室する患者さんに安心して入室してもらえるよう、スタッフ一同自己研鑽をしています。
(看護師長 亀崎智都江)

60期生 里帰り企画を終えて

里帰り企画担当教員 高梨 亜紀子

今年3月に本校を巣立った60期生80名の里帰り企画が6月開催されました。就職先の施設のご配慮も頂き、45名の参加がありました。会が始まり、一言スピーチでは「就職して今日までの自分を振り返って思うこと」を語り合いました。頑張ってきたこと、楽しさや喜びを感じていること、成長したと思えた出来事、悩んでいることなど今思っていることを話してくれました。また看護の現場に出て改めて学校教育について思うことなども話してくれました。卒業生達の表情から看護師としての成長を感じる事が出来ました。

歓談の際には夜勤、日常生活の変化、人間関係、将来の人生設計などを仲間に話し、今後も頑張ろうという言葉



葉や笑顔が見られ教員一同安心致しました。これもひとえにご指導頂いている皆様方の御指導の御陰と心より感謝致します。まだまだ未熟な新人看護師ですが、いつまでも輝きを持ち続けられるよう心から願い、支援して行きたいと思えます。

平成27年度 千葉県下看護学生体育大会

教員 村松 優子

7月3日、今年も千葉県総合スポーツセンターに於いて、千葉県下看護学生体育大会が開催されました。

旭中央病院附属看護専門学校、君津中央病院附属看護学校、千葉中央看護専門学校、当校の4校から685名の学生及び教職員が参加しました。

今年度のテーマは「協和」です。当日は、千葉市内に大雨洪水警報が発令されるという荒れ模様の天候でしたが、体育館の中では選手と応援の学生の熱気に包まれ、歓声の絶えない時間となりました。

どの学校も優勝を目指して真剣に競い合い、気持ちのいい汗を流し



ました。

競技の結果は、当校は男子バスケットボール、女子バスケットボール、バレーボールで優勝することができました。この大会を通し、各学校内はもちろん、学校は違えども看護の道を志す仲間たちが心を通わせて友好を深めることができ、とても有意義な時間となりました。

公開講座を開催して

教員 菊間 さやか

平成27年8月1日「大切な人が倒れた時、あなたはできますか？～救急車がくるまでの救命対応～」というテーマのもと、万が一救急事態がおきてしまっても、慌てずに対応できるように救急車を要請するかどうかの判断の仕方と、救急車がくるまでの間にできる対応について、講義と実技を通し学んでいただけるよう公開講座を



開催しました。

救急対応や救命処置の流れなどの講義と胸骨圧迫やAEDを実際に使用し演習を行いました。

地域の皆様からは、「実際にAEDや人形を使用して行えたので、とてもよくなりました。」「救急車が来てくれるまでに行うことがあることを知りました。大変ために

なった。」という声が聞かれ、意見交換もでき大変有意義な時間となりました。参加したことで基礎知識は理解していても、実際にその場で対応することへの不安な思いを抱えていることを参加者の意見の中から再認識しました。

今後も地域に根ざした取り組みができるように努めていきたいと思えます。

第48回 椿森祭を終えて

教員 山中清美

日増しに秋の気配が濃くなってまいりました。去る9月19日(土)に第48回椿森祭が開催されました。今年のテーマは「繋がり～僕らがつなぐこの瞬間～」でした。このテーマは、患者さんやご家族、地域の方々をはじめとする様々な方々との繋がりや学生間の繋がりが看護に大きな力となっていることを椿森祭にお越し頂いた方々に伝えたいという思いから決定しました。

4月より椿森祭実行委員が中心となり、全学生が協力し合って準備を重ねました。当日は約150名の来場があり、有意義な一日を過ごすことができました。今年も一般公開の前に椿森研究発表会が行われ、学生全員が看護について考える機会となり、学びを深めることができました。

また、一般公開では、学校紹介の展示、一時救命処置の実演、血圧測定・手浴体験、禁煙対策の発表など日頃の学習成果を発表する機会となりました。バザーや軽食・

駄菓子の販売、こどもプレイルーム、ダンスパフォーマンス、白衣写真会、アンサンブルの発表に加え、今年は新たに点字コーナー、手話コーナーを企画し、多くの方々に体験していただきました。

学生達は生き活きとした表情や笑顔で対応しており、来場された方々を温かくおもてなしができたのではないかと思います。

最後になりましたが、椿森祭にお越しいただいた多くの皆様、椿森祭を開催するにあたり、病院でのポスターの掲示、バザーの物品提供などご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。



トトロの夏祭り

毎年、夏と冬に開催しているトトロ祭りは、今年は平成27年7月20日(海の日)に夏祭りが開催され、今回で第34回目となりました。

地域連携活動及び入院患者さんへの夏のイベントとして実施しているもので、永田ダンススクール等多くのボランティアの皆様による歌やダンスを披露していただき、今回も多数の患者さんに見てもらい聞いてもらい楽しい夏のひとときを過ごしていただいたのではないかと思います。ご協力ありがとうございました。(管理課)



千葉県看護功労者知事表彰を受彰いたしました

前8階病棟看護師長 斎藤 幸子

平成27年5月27日(土)、千葉県知事より看護功労者知事表彰をいただきました。看護部長から「今年度の知事表彰受賞者に決まりました」というお話があったとき、「私でいいのかしら?」と恐縮する気持ちと同時に、嬉しい気持ちがこみあげてきました。

振り返るに、39年間看護師という好きな仕事を継続できましたのは、上司の方々のご指導ご支援はもちろんのこと、先生方や多くの先輩、同僚、後輩、病院の皆様、そして家族の力強いサポートがあったからこそ思っております。忘れてならないのは、患者さんから頂いた感謝

の言葉や暖かい励ましです。また、日々患者さんが病気と向き合う姿勢に感銘を受けると同時に、多くのことを患者さんから教えて頂き、私自身もひとりの人間として成長することができました。

これまで支えていただいた多くの方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



がん患者サロン・プロヴォックス患者交流会

がん患者サロン

がん体験者や、そのご家族が集ってお話をして気持ちを分かち合い、また情報を交換する交流会です。

一人より二人、二人より三人で分かち合えばこころが軽くなります。また、がんと上手につき合い、より良い生活を送るためのヒントも得られます。

プロヴォックス患者交流会

喉頭がんなどで声帯の全摘手術後、プロヴォックスを用いた気管-食道シャント術で声を取り戻された方の集まりです。

プロヴォックス発声法に関心のある方、及びご家族の方の参加をお待ちしています。

参加に当たって

これらの会では、次のお約束をさせて頂いています。

1. ご自身のことをご自身の言葉で語りましょう。
2. 他の方のお話は評価しないで聞きましょう。
3. この場でのお話はこの場限りとして、外ではお話しにならない(守秘)で下さい。

この場合は、個別の診断や治療方法等のご質問や相談を受ける場ではありません。また、宗教や営利を目的とする会ではありませんので、ご安心して参加して下さい。

入院中の方はナースステーションに声かけてご参加ください。

がん患者サロン・プロヴォックス患者交流会 開催概要

開催日時： 毎月第4金曜日

13:30～16:00 (祝祭日及び都合により、第3金曜日)

開催場所： 千葉医療センター内会議室 (当日、道順案内を掲示します)

対象者： 主として体験者及び、そのご家族
(どちらの医療機関に掛かっておられても参加出来ます)

参加費： 無料 (予約はいりません)

その他： 実行世話人は体験者です。

2015年開催日

● 10月23日(金)

● 11月27日(金)

● 12月18日(金)

(12月は第3金となります。)

* 毎月の開催案内(チラシ)は、1階エスカレーター前のチラシ置き場にあります。

お問い合わせ TEL.043-251-5311 (代表) 担当：経営企画室 久米

当院では、「地域がん診療連携拠点病院」(平成20(2008)年2月8日指定)の役割として、院内外のがん患者さん及びそのご家族の方々を支援するため、「がん患者サロン」、「プロヴォックス患者交流会」の活動を支援しています。

市民健康セミナーの開催

当院では千葉市民の皆様へ健全な生活を営んで頂くために、少しでもそのお手伝いができればと考え、8月を除く毎月「市民健康セミナー」を当院地域医療研修センターで開催しております。

7月～9月に行われたセミナー

7月23日(木)

「パーキンソン病の最近の話題
ーリハビリテーションを含めてー」

講師：神経内科医長 古本 英晴

9月24日(木)

「血管(動脈)の病気について
～人は血管と共に老いる～」

講師：心臓血管外科医長 平野 雅生

今後の予定

第4木曜日 午後2時から4時
会場：当院地域医療センター

10月22日(木)

「今を生きるための『養生』と漢方薬
～その健康法、あなたにありますか?」

講師：和漢診療科 永井 千草

11月26日(木)

「元気に冬を乗り越える
～インフルエンザ等の感染症予防～」

講師：感染管理認定看護師 竹本 真美

12月24日(木)

「^{えんげ}摂食・嚥下障害ってご存知ですか?
ーおいしく、楽しく、安全にお食事をとっていただくためにー」

講師：摂食・嚥下障害看護認定看護師 飯原由貴子

セミナーに10回参加された方には記念品をさしあげます。

専門外来担当医師表

診療科	月	火	水	木	金
和漢診療科		永井千草 8:30～13:00 完全予約制	永井千草 8:30～13:00 完全予約		
腎内科(内科)			上田志朗 <第2・4水曜日>8:30～11:00		
不整脈外来(循環器内科)			上田希彦<第2・4水曜日> 14:00～16:30 完全予約制		
ヘルニア専門外来(外科)				山本海介 13:00～15:00	
緩和ケア外来(外科)		豊田/石田 手渡(認定看護師) 13:30～15:30 完全予約制	豊田/石田 手渡(認定看護師) 9:30～11:00 完全予約制		
ストーマ外来(外科)					谷(認定看護師) 外来診察時間内
禁煙外来(外科)			菰田 弘 13:00～ 完全予約制	守 正浩 14:00～ 完全予約制	
肛門外来(外科)<完全予約制>	守 正浩 14:00～16:00				
助産師外来(産婦人科)		<完全予約制>		<完全予約制>	
性カウンセリング(総合診療室)				大川 玲子 8:30～17:00 完全予約制	

検査担当医師表

診療科	月	火	水	木	金	
胃内視鏡検査 (午前)	金田/菰田	田村 玲	斉藤 正明	阿部 朝美	伊藤 健治	
	里見 大介		里見/土岐	福富 聡		
大腸ファイバー(午後)	内科交替医	外科交替医	外科交替医	外科交替医	内科交替医	
超音波	腹部	菰田 弘	阿部 朝美	田村 玲	伊藤 健治	杉浦/金田
	心臓				山田 善重 <第2・4木曜日> 午前	高見 徹

編集後記

あっという間に季節は秋になってしまいました。スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋…。皆さんにとって、秋はどんな季節でしょうか？

食欲の秋というフレーズに負けてしまうこともありますが、秋は気候的に体を動かしやすい季節です。

ふだん体を動かすことが少ない方も、この秋から、何かスポーツを始めてみてはいかがでしょうか。いい汗かくとまではいなくても、ちょっとした散歩をするだけでも、心地良い風に触られるのではないのでしょうか。(K)

【編集委員名簿】

(編集長 杉浦 信之)

(副編集長 三井 光義)

(木村 寿) (伊藤 博) (打矢 直記)

(奥澤 武幸) (森 由美子) (佐藤 厚子)

外来診療担当医師表 “聞く” “聴く” “訊く” の対応を! 平成27年10月1日より

診療科		月	火	水	木	金	
受付時間は原則として、平日(月曜日から金曜日)の8:30から11:00まで							
内科	新患	杉浦信之 斉藤正明	杉浦信之 斉藤正明	杉浦信之 石田琢人	森泰子 田村玲(第1・3木曜日) 菰田弘(第2・4木曜日)	斉藤正明 岡澤哲也	
	再診	呼吸器内科 新患は紹介制	丸岡美貴 安田直史	西村大樹 栗山彩花	江渡秀紀 栗山彩花	丸岡美貴 西村大樹	江渡秀紀 安田直史
		消化器内科 (消化管、肝、胆、胰)	伊藤健治 田村玲	金田暁 大黒晶子	金田暁<予約制> 伊藤健治 阿部朝美 金子達哉(第1・3水曜日)	篠崎勇介 西村光司	阿部朝美 明杖直樹
		総合内科		菰田弘		後藤茂正(血液)	石田琢人
	糖尿病代謝内科 新患は紹介制	島田典生	石塚伸子	島田典生	岡澤哲也 由井健智	島田典生 吉井聡美	
神経内科 新患は紹介制・予約制	中村圭吾	古本英晴	中村圭吾	古本英晴	三津間さつき		
精神・神経科 再診患者のみ	再診	海宝美和子 小松英樹 新津富央	中山裕一(午前)	海宝美和子 池田克人	焼田まどか	焼田まどか 池田克人	
循環器内科 新患は紹介制 月曜日は完全予約制	高見徹 <完全予約制>	久保健一郎 受付は10時まで	宮澤一雄 受付は10時まで	高見徹 受付は10時まで	中里毅 受付は10時まで		
小児科	重田みどり	新井ひでえ	重田みどり	重田みどり	新井ひでえ		
外科・消化器外科	森嶋友一 福富聡 榊原舞 守正浩	[交替医]	豊田康義(緩和ケア) 山本海介 利光靖子 石毛孔明	小林純 里見大介 土岐朋子	[交替医]		
乳腺外科 紹介制・完全予約制	鈴木正人 中野茂治	鈴木正人 中野茂治	手術日	鈴木正人 中野茂治	鈴木正人 中野茂治		
整形外科 火・金の受付は10時まで	大河昭彦 阿部功 村上宏宇 白井周史	[交代医] 手術日 受付は10時まで ※新患のみ	大河昭彦 阿部功 佐久間詳浩 縄田健斗	村上宏宇 白井周史 佐久間詳浩 縄田健斗	手術日 受付は10時まで ※新患のみ		
股・膝関節外来 完全予約制			阿部功(股関節) 14時～15時30分	白井周史(膝関節) 13時30分～15時			
形成外科 木曜日は完全予約制	手術日	鈴木文子 三木規子	手術日	[交代医] <完全予約制>	鈴木文子 三木規子		
脳神経外科	丹野裕和 尾崎裕昭	丹野裕和 川崎宏一郎	丹野裕和 大石博通	手術日	尾崎裕昭 川崎宏一郎		
呼吸器外科	斎藤幸雄	手術日	斎藤幸雄	斎藤幸雄 芳野充	手術日		
心臓血管外科			平野雅生		増田政久		
皮膚科 受付は10時まで 月・木は完全予約制	秋田文 受付は10時まで	秋田文	秋田文	角田寿之 <完全予約制>	秋田文		
泌尿器科 新患は紹介制 水曜休診 金曜の受付は10時まで	佐藤直秀 川名庸子 一色真造 宮内武弥	一色真造 櫻山由利	手術日	佐藤直秀 川名庸子 櫻山由利	[交替医] 手術日 受付は10時まで		
産婦人科 新患受付は月・水・金(紹介制)	岡山佳子 山縣麻衣 黒田香織(産)	<完全予約制>	岡嶋祐子 山縣麻衣(産)	<完全予約制>	岡嶋祐子 林若希 岡山佳子(産)		
眼科 新患は紹介制 再診は予約制 受付は10時まで	新井みゆき 窪田真理子 大岡恵美 戸辺文	根岸久也 新井みゆき 窪田真理子	根岸久也 新井みゆき 大岡恵美 戸辺文	[交替医] 手術日 ※新患のみ	根岸久也 窪田真理子 大岡恵美 戸辺文		
頭頸部外科・耳鼻咽喉科 新患は紹介制 再診は予約制 火・水の受付は10時まで	渋谷真理子 坂本夏海 藤川陽	渋谷真理子 鈴木誉 受付は10時まで	[交替医] 手術日 受付は10時まで ※新患のみ	手術日	鈴木誉 坂本夏海 藤川陽		
放射線科 治療	酒井光弘<予約制>		酒井光弘<予約制>		酒井光弘<予約制>		
歯科口腔外科 再診は予約制	中津留誠 嶋田健 坂詰智美	中津留誠 嶋田健 坂詰智美	中津留誠 嶋田健 坂詰智美	中津留誠 嶋田健 坂詰智美	中津留誠 嶋田健 坂詰智美		
病理診断科	<完全予約制(月～金)>						

※専門外来・検査担当表は11ページに掲載しています。